

アイティジョーG3310

この消火薬剤は消防法第21条の2第2項の規定(昭和23年法律第186号)に基づく、昭和50年12月9日発令の自治省令第26号「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令」(国家検定)に適合した、たん白泡消火薬剤「型式番号泡第9~4号」です。石油類(非水溶性危険物)およびアルコール類・ケトン類・エーテル類・アルデヒド類・カルボン酸類・アミン類などの水溶性危険物の火災に使用できます。本資料はこの製品の仕様に関するものです。

■成分

- 本消火薬剤は、天然たん白質を加水分解したものを主成分とし、フッ素系界面活性剤を添加した、石油類・水溶性液体火災両用タイプのフッ化たん白泡消火薬剤です。特に水溶性液体火災の消火能力を従来品より大幅にアップしました。
- 泡安定剤・凝固点降下剤などを添加しています。
- 貯蔵中の薬剤変質を防止するために変質防止剤を添加しています。
- PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸またはその塩)は含有していません。

■使用方法

- 石油類火災・水溶性可燃性液体火災のいずれも3%型として使用できます。(3%—3%型)
- 淡水・海水・硬水のいずれで希釈しても使用できます。
- 3%—3%型のため、貯蔵量が6%型の半分となり、原液タンクが小型化できます。
- 固定式(フォームチャンバー、泡ヘッド、泡ノズル等)消火方法に使用できます。また、粉末消火薬剤との併用も可能です。

■性状

- 黒褐色の均質な粘性液体です。
- 泡消火薬剤の原液及び生成した泡は、毒性または損傷性がほとんどありません。
- 従来のたん白泡の高耐熱性に加え、フッ素系界面活性剤により泡の流動性の向上と、水溶性液体火災に優れた耐液性(耐アルコール性)を持ち、石油類火災にも優れた耐油性(撥油性)を発揮。燃焼面を迅速流動展開した泡が速やかに消火します。
- 銅・黄銅・アルミニウムに対し著しい腐食性はありません。温度38℃の泡消火薬剤の中に、金属試験片を21日間放置した場合の質量損失は次の通りです。

金属の種類	実測値	国検規格
銅(SPCC)	0.35mg/20cm ² /day	3mg/20cm ² /day以下
黄銅(C2801P)	0.31mg/20cm ² /day	
アルミニウム(A5052P)	0.02mg/20cm ² /day	

- 本消火薬剤は、温度65℃に216時間保った後に室温に戻し、さらに温度-18℃に24時間保った後に室温に戻す強制変質試験を行っても、試験前の製品とほぼ同等の性能を有します。

■使用温度範囲

「-10℃~+30℃」の温度範囲で使用できます。もし使用温度範囲及び流動点以下に温度が下がり泡消火薬剤が凍結しても、液温が使用温度範囲内に戻れば有効に使用できます。

■物理的性状

試験項目	実測値	国検規格	
比重 (20℃)	1.17	1.10~1.20	
粘度 (20℃)	42cSt	400cSt以下	
流動点	-15.0℃	-12.5℃以下	
pH (20℃)	6.7	6.0~7.5	
沈澱量	原液	痕跡以下	0.1vol%以下
	淡・海水希釈液	痕跡以下	0.05vol%以下
引火点	なし	60℃以上	

■性能

	試験基準	基準別実測値			規格値
		国検規格		告示559号	
試験条件	使用水・希釈率	淡水3%	合成海水3%	淡水3%	——
	燃料種類	自動車用ガソリン		アセトン	——
	燃料量	200L		400L	——
	発泡ノズル	国検たん白泡標準ノズル			——
	放射量	10L/min			——
	燃焼火皿	B-20(4m ²)			——
発泡性能	発泡倍率	8.8倍	8.4倍	8.7倍	6倍以上
	25%還元時間	6分20秒	7分15秒	6分25秒	1分以上
消火性能	消火時間	1分59秒	1分54秒	2分02秒	5分以内
	密封性試験	良	良	良	良
	耐火性試験	0cm ² (自然消火)	56cm ²	176cm ²	900cm ² 以下

■容器

標準容器として次の2種類があります。

200L容器：JIS Z1601に適合する鋼製液体用ドラム缶

20L容器：JIS Z1706に適合するポリエチレン偏平缶

■取扱上の注意

●使用上の注意

- 「石油類火災用」「水溶性液体火災用」に使用してください。
- 使用時に他の薬剤と混用しないでください。
- 使用時には淡水・海水または硬水で3%希釈してご使用ください。

●貯蔵上の注意

- 貯蔵時にプレミックス(淡水・海水・硬水と混合)しないでください。
- 使用温度範囲を保って貯蔵してください。
- 貯蔵中に、みだりに開缶しないでください。

※たん白泡消火薬剤は、空気に触れると徐々に変化し原液の表面に非水溶性の膜が生じて沈殿します。これを繰り返すうちに消火性能の低下や、沈殿による配管の詰まりなど本来の性能を十分に発揮できなくなる可能性があります。性能低下を防止するため、変質防止剤などを添加していますが、使用温度範囲以内で保管していただくなど、取り扱い上の注意を守っていただくことでより長く使用できます。